



## 神田外語キッズクラブ 文部科学省委託事業の DX 時代における児童英語講師養成プログラム開始

神田外語グループの児童英語教室である神田外語キッズクラブ(東京都千代田区/運営:株式会社神田外語文庫)が文部科学省委託事業である児童英語講師養成プログラムを開始、2021年10月9日(土)に児童英語指導法科目の第1回授業が行われました。本プログラムでは、幼児・児童英語に関する確かな知識・指導法を習得し、子どもの年齢や環境に応じて適切な教育を提供できる指導者の育成を目指します。また、現在は教育現場における DX(Digital Transformation)が推進されていることから、指導者の ICT スキルも大切な要素となります。本プログラム内で IT 基礎知識も同時に習得することで、DX 時代の即戦力となる児童英語指導者を育成します。

神田外語キッズクラブ(以下、キッズクラブ)は、世界のことばと文化を学べる語学教育機関である神田外語大学・神田外語学院のグループとして、1996年に創立されました。キッズクラブでは、神田外語グループの効果的な外国語習得法の研究・実践をもとにして、そのノウハウを生かした教育を提供しています。

この度のプログラムは、今年の3月に文部科学省より公募された「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」に採択されており、同省より受託した神田外語大学が、キッズクラブへ再委託したものととなります。

本プログラムはGIGAスクール構想を鑑み、民間資格を強みとした幼・保育児指導、初等教育の分野における児童英語指導者として現場の即戦力となる講師を育成します。加えて、新たな教育指導に取り組む心構えを滋養するための変革マインドセット研修も実施します。

プログラムの目玉はJ-SHINE®<sup>1</sup>(小学校英語指導者認定協議会)認定の「児童英語講師養成講座」です。受講者は、幼児・児童英語指導者として必要となる知識と指導技術をZoomによる双方向授業で学びます。神田外語グループの教員および、キッズクラブの児童英語講師陣による専門的かつ実践的な内容で、第二言語習得理論や発達心理学の基礎、早期英語教育における指導者の役割から、幼児～小学生までの発達段階に応じた指導計画の作成方法など、さまざまな指導法を幅広く学習します。

### 児童英語講師養成プログラム 概要

【期 間】2021年10月2日(土)～2022年2月28日(月)

【形 式】対面とオンライン(Zoom)の組み合わせ

【受講料】無料(文部科学省委託事業のため)

【講 座】「児童英語講師養成講座」「英語基礎講座」「変革マインドセット講座」「実用IT基礎講座」「キャリア開発」

### J-SHINE®認定「児童英語講師養成講座」

J-SHINE®は日本の小学校における英語教育の普及・発展を支援するという目的で設立されたNPOです。子どもに英語を指導するための知識・技能を持った民間の指導者を育成、資格認定し、全国の教育現場での小学校英語活動を支える体制を行ってきました。神田外語キッズクラブは、同協議会の登録団体として認定されています。

キッズクラブでは、以前より本講座を開講しており、同グループである神田外語大学・神田外語学院で長年研究、実証されてきた外国語指導のノウハウと、児童英語指導の豊富な経験に基づく教育を提供しています。これまでは対面でのみ開講していましたが、この度のプログラムを皮切りに2022年1月よりオンライン講座を開講予定となります。

本講座を修了すると、J-SHINE®認定資格を申請することができ、これまでに資格を取得した受講者は小学校英語教育の現場や、民間の英会話スクール、その他の教育現場で活躍しています。

※申請可能資格は、「J-SHINE®準認定」「正認定」または「正認定+」資格のいずれかとなります。申請のための条件が異なりますので、詳しくはキッズクラブHPをご覧ください。(キッズクラブHP <https://kidsclub.co.jp/training/j-shine/>)

<sup>1</sup> J-SHINE®は、特定非営利活動法人 小学校英語指導者認定協議会の登録商標です



・受講者に説明する神田外語キッズクラブ 飯田講師



・オンライン講座中の様子(上)  
・講座で使用される教材(右)



※本学から配信されるプレスリリースはSDGsに基づいた教育環境充実の一環として、UD(ユニバーサルデザイン)フォントで作成されています。 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/52433/>

▼本件に関する報道関係の方の問い合わせ先

学校法人佐野学園(神田外語グループ) グループコミュニケーション部 室井優太郎

TEL:03-3258-5837(平日 9:00~17:30) FAX:03-5298-4123 E-mail:[media@kandagaigo.ac.jp](mailto:media@kandagaigo.ac.jp)